

ライフサイクル制度、業務外注化、ダイ改合理化、基地統廃合、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

動労千葉 3・15～16ストを貫徹！ 津田沼～中野4往復の解消を



上…習志野運輸区前抗議行動
下…スト突入を宣言する相馬支部長

動労千葉は3月15～16日、3月ダイ改合理化・乗務員勤務制度改悪の中止を求め、津田沼支部・相馬支部長がストに突入しました。スト貫徹総決起集会での発言を紹介いたします。

若い人たちに動労千葉の闘う姿を示す
津田沼支部 相馬支部長

本日、ダイ改に反対してストに突入した。今回は始まりで、これからもっとときつくされる。次は三鷹泊となり、津田沼～中野4往復の1.5倍の距離まで間違いなく延ばされる。すでに日勤で200キロ、泊りで300キロの乗務が基本にされている。習志野運輸区は旧

車掌区に移転することが決まっているという話だが、それと一体で入出区がCTSに外注化されれば、さらに乗務時間が延ばされる。毎日のように遅れが発生しているが、かつてなら中野や三鷹で運用変更をかけていた。今はそれをやらず、津田沼や千葉まで戻ってから運用変更をかける。だから、乗りっぱなしになる。自分なら「5分、10分の休憩で戻れない」というが、若い人は「継続乗務します」とそのまま乗らされちゃう。

このままでは誰かが倒れてしまう。倒れれば行くところがない。動労千葉の闘う姿を現場の若い人たちに見せていきたい。今日、私がストに立ったのはそのためだ。門前行動でも、「万人は一人のため」、一人は万人のために」という姿を示せたと思う。

新たに増やされた短時間行路2つはほとんど本線乗務員が乗務に指定された。定年延長で高齢者対策の短時間行路にもできるのに、それもやらずに休勤までさせる。こんなバカげたことはない。

このままでは「第2の東中野事故」が必ず起きる。誰かが倒れる。そんなことを職場から出したくない。最後までストを貫徹する。